2024　年度 授業計画(シラバス)

学　科	看護学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	ナースのためのイングリッシュ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30　(1)　時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	2年生教室
担当教員	竹内　ひとみ	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

グローバル化と言われる現代において、英語を使ったコミュニケーション能力を養うことは大切である。 この授業では、国際教育の一環として、医療現場並びに海外実習において必要な英語を理解するとともに英語による自己表現のしかたを学ぶ。ロールプレイなどの実践を通じて、4技能(読む・書く・話す・聞く能力)を養う。

《成績評価の方法と基準》

授業に取り組む姿勢(30%)　小テスト(30%)　最終テスト(40%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

Nursing English in Action　その他必要な資料は授業中に配布する。

《授業外における学習方法》

事前学習 教科書の予習する
事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習

《履修に当たっての留意点》

理解できなかった単語や聞き取れなかった英文などは、授業の中で解決すること。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療の現場で使われている基本的な専門用語を理解することができる。	テキスト、配布資料	事前学習 シラバスを読む(15分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Introduction, Warm-up Chapter 1(患者と初対面の対応、職種・病院診療科の名称)		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療の現場に必要な基本的な英語表現を使いこなすことができる。	テキスト、配布資料	事前学習 病院案内の会話を暗記する(20分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter 1(病院案内のロールプレイ)		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療の現場で使われている基本的な専門用語を理解することができる。 英語の背景にある文化を理解し、英語を使ってコミュニケーションができる。	テキスト、配布資料	事前学習 教科書のVocabularyを予習する(30分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter 2(体の部位の名称・痛みの表現) 英語の基本表現　その1		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療の現場に必要な基本的な英語表現を使いこなすことができる。 英語の背景にある文化を理解し、英語を使ってコミュニケーションができる。	テキスト、配布資料	事前学習 症状を問診するときの表現を暗記する(20分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter 2(症状についての問診ロールプレイ) 英語の基本表現　その2		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療の現場で使われている基本的な専門用語を理解することができる。 海外実習や日常生活に必要な英語を理解することができる。 海外実習や日常生活でその場にふさわしい表現を使い、自分の意志を相手に伝えることが出来る。	テキスト、配布資料	事前学習 教科書のVocabularyを予習する(30分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter 3(患者のプロフィール・社会的背景に関する語彙) 空港での入国審査に関する会話		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療の現場に必要な基本的な英語表現を使いこなすことができる。	テキスト、配布資料	事前学習 小テストに向けてChapter 1～3を復習(40分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter 3(診療申し込み書を記入するときのロールプレイ) 第1回 小テスト		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療の現場で使われている基本的な専門用語を理解することができる。 海外実習や日常生活に必要な英語を理解することができる。 海外実習や日常生活でその場にふさわしい表現を使い、自分の意志を相手に伝えることが出来る。	テキスト、配布資料	事前学習 教科書のVocabularyを予習する(30分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter 4(病歴と生活習慣に関する語彙) 海外ホテルでチェックイン時に必要な会話		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療の現場に必要な基本的な英語表現を使いこなすことができる。 海外実習や日常生活に必要な英語を理解することができる。 海外実習や日常生活でその場にふさわしい表現を使い、自分の意志を相手に伝えることが出来る。	テキスト、配布資料	事前学習 病歴や生活習慣を聴取する表現を暗記する(20分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter 4(病歴や生活習慣を聴取するロールプレイ) 海外で道を尋ねるときの会話		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療の現場で使われている基本的な専門用語を理解することができる。 海外実習や日常生活に必要な英語を理解することができる。 海外実習や日常生活でその場にふさわしい表現を使い、自分の意志を相手に伝えることが出来る。	テキスト、配布資料	事前学習 教科書のVocabularyを予習する(30分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter 5(病棟・病室の備品などに関する語彙) 海外のレストランでの会話,また買い物をするときの会話		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療の現場に必要な基本的な英語表現を使いこなすことができる。	テキスト、配布資料	事前学習 小テストに向けてChapter 4～5を復習(40分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter 5(院内の日課・規則について説明するロールプレイ) 第2回 小テスト		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療の現場で使われている基本的な専門用語を理解することができる。 海外実習や日常生活に必要な英語を理解することができる。 海外実習や日常生活でその場にふさわしい表現を使い、自分の意志を相手に伝えることが出来る。	テキスト、配布資料	事前学習 教科書のVocabularyを予習する(30分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter 6(ADL介助に関する語彙) 自己紹介・鳥取を紹介する会話		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療の現場に必要な基本的な英語表現を使いこなすことができる。 海外実習や日常生活に必要な英語を理解することができる。 海外実習や日常生活でその場にふさわしい表現を使い、自分の意志を相手に伝えることが出来る。	テキスト、配布資料	事前学習 移乗介助をするときの表現を暗記する(20分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter 6(ベッドから車椅子へ移乗介助をするときのロールプレイ) 日本文化(折り紙)を紹介する会話		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療の現場で使われている基本的な専門用語を理解することができる。 海外実習や日常生活に必要な英語を理解することができる。 海外実習や日常生活でその場にふさわしい表現を使い、自分の意志	テキスト、配布資料	事前学習 教科書のVocabularyを予習する(30分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter 7(バイタルサインに関する語彙) 日本文化(習字)を紹介する会話		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	医療の現場に必要な基本的な英語表現を使いこなすことができる。	テキスト、配布資料	事前学習 小テストに向けてChapter 6～7を復習(40分) 事後学習 授業で新しく学んだ単語・表現の復習(30分)
		各コマにおける授業予定	Chapter 7(バイタルサインを測定するロールプレイ) 第3回 小テスト		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	英語の背景にある文化を理解し、英語を使ってコミュニケーションができる。	テキスト、配布資料	事前学習 様々な場面における会話を復習をする(30分) 事後学習 まとめ学習(30分)
		各コマにおける授業予定	まとめ プレゼンテーション		